

北の農職家

KITA NO NOUSYOKUKA

2020

2

No.278



JA常勤理事と青年部・女性部・フレッシュミズとの
意見交換会にて

開催日:令和2年1月30日(木)





JA情報館



JA常勤理事と青年部・女性部・フレッシュミズとの意見交換会を開催①

1月30日(木)JA会議室にて、『JA常勤理事と青年部・女性部・フレッシュミズとの意見交換会』を開催致しました。

JAからは、山下組合長・宮川常務・岡本参事をはじめ各課長が出席し、青年部・女性部・フレッシュミズの各団体からは三役が出席しました。

例年開催している意見交換会は、各団体の要望や質問等あらかじめ各団体内で行われた協議内容を踏まえ、意見交換の場を作り、今後のJA運営に資する事を目的として実施しています。

午前11時から開催された意見交換会は、冒頭、山下組合長から令和元年度の農業情勢・JA決算見込概要等が報告され、現在進めているJA新事務所建設の進捗状況の報告がされました。また、青年部からの要望であったWi-Fi設置や女性部のシステムキッチンの設置・フレッシュミズの授乳室等各団体からの要望を盛り込んでおり、5月連休明けからの新事務所での業務開始に向けて取り進めている事が報告されました。

その後、協議事項として各団体から様々な意見が述べられました。



《各団体の主な意見内容》

【青年部】

- ① 小麦乾燥調製施設について～老朽化している小麦乾燥調製施設の建替えについて、組合員からも地区懇談会等を通じて様々な意見が出されていると思うが、明確な回答が得られていないと感じている部員もいます。JAとして、現状での建替えに関しての決定プロセスをどの様に検討しているのか。

また、建替え後の稼働率を含めた長期的な計画を考慮し、アンケート等を実施し組合員の今後の作付意向や規模の動向を正確に把握すべきと考える。

- ② 人事について～JA職員採用はどのようなプロセスにて決定しているのか。

より質の高い職員を採用するために、今後JAはどのような変革を考えているのか。

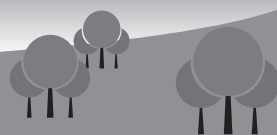
また、畜産関係は市場との関わりの中で、担当職員が変わる事で弊害が生まれるので、在籍年数を他の課よりも伸ばす事はできないか。

- ③ 農協観光の利用について～青年部で海外研修の企画をした際、費用の面で他社にて検討していたが、JAから農協観光の利用を勧められた。その必要性の説明は正直納得出来るものではなかった。

JAグループとしての立場や安全面・事務処理等を考慮すると十分理解できるが、費用面でのデメリットが大きい場合もあり、柔軟な対応を求めたい。



JA情報館



JA常勤理事と青年部・女性部・フレッシュミズとの意見交換会を開催②

④ 網走漁協との取組について～環境問題として網走漁協との連携・取組は理解できるが、青年部の負担や今後の部員数減少を考慮すると取組を維持していくには厳しいものがある。土壌流出による水質汚染を防ぐために、漁協を含む網走川下流地域が上流地域に対して環境改善を求める姿勢も十分理解できるが、メリットを感じにくい事も正直なところである。また、行事参加については、事前に案内を頂く等配慮して頂きたい。また、河川氾濫の要因でもある河川内の倒木の除去等を河川事務所など行政側に共同で働きかけるなど、上流地域にも意義のある共通目標などを設定して頂けると、後進にも活動の意義を伝えやすいので検討して頂きたい。

⑤ 道路交通法改正について～トラクターに関わる道路交通法改正についての情報を組合員へ周知して頂きたい。

⑥ 業務用携帯電話について～職員に業務用携帯電話をJAにて手配し対応頂きたい。

職員が個人の携帯電話を業務で使用している為、業務中は業務用携帯電話を持って頂けると組合員は電話をかけやすくなると思う。



【女性部】

① JA新事務所について～JA新事務所完成に向けて竣工式等予定していると思うが、今後のスケジュールを示して頂きたい。

② JAコネクトについて～昨年本稼働したJAコネクトについて、現在、JAからの案内等取組が進み大変良い事だと思います。今後更なる普及拡大に向けて使用方法等の詳しい説明会の機会を作って頂きたい。

③ 確定申告の税務相談等の取扱について

【フレッシュミズ】

① 研修活動について～部員研修を日帰り等で実施する事があり、部員の車で研修先に移動している現状でありJAとして対策を講じて頂きたい。

午前11時から昼食をはさみ、午後2時まで各団体から多岐にわたる意見交換が和やかな雰囲気の中で開催されました。閉会にあたり、山下組合長から各部より頂いた貴重な意見を総括し、今後のJA運営に努めて参りたいと閉会挨拶を行い意見交換会を閉じました。





JA 情報館



㈱柏木農場 優秀賞受賞

1月15日(水) 帯広市北海道ホテルにて、カルビーポテト(株)主催による『2019年度生産者表彰式とカルビーふれあいの集い』が開催され、津別町活波の㈱柏木農場様が優秀賞を受賞されました。この賞は全道1,000名以上の契約生産者の中から表彰基準を満たし、特に品質優秀な生産者10名が表彰されるもので、昨年は全道的にも豊作で品質も良い中での受賞であり、高い栽培技術を発揮いただいた結果となりました。



ハロー!ポテトランド 2019開催

12月15日(日) カルビーポテト(株)主催による『ハロー!ポテトランド2019』がJAつべつ加工馬鈴薯バラ貯蔵庫内にて開催されました。



会場内ではポテトチップスや加工食品の試食会、でん粉スライム作りや募金を兼ねた菓子詰め放題、パイラーを使った玉入れやバラ倉庫の見学ツアーを行いました。

当日は11時過ぎまで雪模様だったにも関わらず、来場者数が107名と目標の80名を大きく超え沢山の家族連れで会場は賑わい、お子様方中心にとっても楽しんで頂きました。

普段馴染みのない倉庫内に興味を持ったり、今まで意識しないで食べていたポテトチップスが時期によって品種が違う事、また実際食べると食感が違うなど大人の方も楽しむ事が出来ました。

主催したカルビーポテト(株)からは、今後規模を大きくして開催したいとの声がありました。



津別町 麦作協議会全体会議を開催

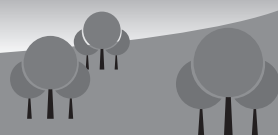


1月27日(月) JA会議室にて、津別町麦作協議会(会長山下邦昭)は全体会議を開催しました。生産者22名出席のもと、小麦黒穂なまぐさ病の全筆調査や令和元年産小麦実績について報告が行われ、協議事項として第9次農業振興計画に係る小麦生産振興について、営農支援室久保室長より麦乾施設に係る補助事業採択に向けての必須条件や集荷率向上・生産性向上を図る為の課題等、併せて6次化の取組内容と今後の取り組みについて説明がありました。営農支援室木俣職員からは、大麦(もち麦)の調査結果を今後の普及の可能性も含め説明がありました。また、『基本技術による小麦の安定生産』として高田優治氏より優良事例の発表を行いました。生産者からは、小麦は10aあたりの生産性が高い作物であり更にアピールしてほしいなど活発な意見交換が行われました。





JA情報館



営農技術懇談会を開催

12月16日(月)JA会議室にて、組合員25名出席のもと令和元年度営農技術懇談会を開催致しました。例年開催しています営農技術懇談会は、多様化する営農技術に関する事柄をそれぞれの分野毎に時間帯を分けて各講師より説明を受けました。JAつべつ営農支援室木俣職員からは『小麦増収対策どう獲る2020年産小麦』・『土壌凍結深制御技術について』説明があり、ホクレン北見支所生産資材課松本職員からは『肥料情勢・秋まき小麦用肥料』、日甜美



幌製糖所津別原料事務所上野所長より『てん菜の健苗育成について』、網走農業改良普及センター美幌支所からは、『令和4年産より抵抗性品種100%切り替えに向けたジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種試験に係る実績報告』がされました。午前10時から開催し、昼食時には『つべつ産小麦100%』使用した、『手をつなぐ育成会』のパンを試食し、午後4時までの長時間の開催となりましたが参加者は熱心に耳を傾けました。

第15回 営農組合連絡会議総会を開催

1月17日(金)JA会議室にて、第15回営農組合連絡会議総会を開催致しました。

令和元年度事業報告・収支決算報告、令和2年度事業計画・収支予算が全会一致で承認可決し、併せて新役員体制が決定しました。



《新役員体制》

会長 藤原 広伸(第6営農組合)

副会長 佐藤 伸也(第2営農組合)・柏葉 真一(第11営農組合)

《令和2年度事業計画方針》

①営農組合の地域振興方策

地域振興の基本理念

自分達の手で地域農業を活性化し、農地流動化や地域行事の維持を図り、地域の活力創造プランによる地域共同の営農活動を推進する。

②営農組合の活動推進

地区懇談会への出席督励

廃プラ回収に係る未提出者への督励

組合員交流会検討委員会への参画⇒実行委員会(営農組合・JA女性部・JA青年部)による内容の検討を行い、全組合員が参加できる組合員交流会の構築と検討

営農組合長視察研修の実施

『組合員との対話運動』の取組⇒『伝統的な協同組合』から『新たな協同組合』へ
だいちとうみの会(網走川流域の会)行事への参加(一斉清掃等)

③営農組合の再編

再編に向けた各地区の実情と必要性を検討



津別町農政活動対策協議会総会を開催

【新たな食料・農業・農村基本計画の見直しに向けた要請強化！】

1月30日(木)JA会議室にて津別町農政活動対策協議会総会を開催致しました。

本協議会は農業団体と外郭団体が提携協力し、農業における政策要請を生産者総意のもと農政活動を展開し農家経済の安定と発展を目的に活動しています。

また、農作業事故防止の啓蒙と講習会の開催や廃プラスチック回収事業の促進、病虫害・病原菌まん延防止対策への取組を行っています。

本総会に先立ち、山下邦昭協議会会長より多くの生産者の声を中央へ向けて発信する事の重要性と本協議会の活発な活動が更なる農業の安定に繋がると述べられました。

令和2年度の活動計画として、『新たな食料・農業・農村基本計画』の見直しに関する中央要請、農作業事故ゼロ運動への農作業安全啓発及び廃プラ回収の促進による環境保全の推進活動等について承認されました。

令和2年度の活動計画

1) 農政活動の推進

- ・農業政策及び農業制度改正等の要請に向け、中央または地区での活動を推進する。
- ・農政活動の推進にあたり人材の育成を図る。

2) 講習会他の実施

- ・JA改革やFTA等の影響・予算に関する情報収集及び講習会等を実施する。

3) 農作業安全啓蒙の実施

- ・事故回避に向けた農作業安全教育の実施
- ・農作業安全啓蒙のための広報活動の展開(広報車等の巡回ほか)
- ・MMH運動の推進強化(広報啓発活動として農作業安全旗の設置・広報誌・パンフレット・ステッカーの発行)

4) 農業振興計画実践への支援

- ・第9次農業振興計画の実践と検証

5) 農業廃棄物の適正処理と環境整備に係る事業の支援

- ・廃プラ回収の促進
- ・環境保全の推進

6) 懸垂幕の作成(メディアタワー)

- ・農政活動の推進及びJA改革などに係るPR

7) 『病虫害・病原菌まん延防止看板』の作成・設置



てん菜栽培技術懇談会を開催

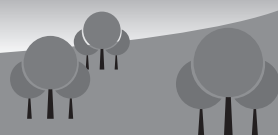
1月29日(水)JA会議室にて、てん菜栽培技術懇談会を開催しました。懇談会には達美・高台地区、豊永・美都・上里地区、共和地区、最上地区のてん菜生産者9名が参加し、開催にあたり日甜美幌製糖所津別原料事務所の上野所長より昨年度の生産実績として、10a当たりの粗収入で過去最高であったなどの情勢報告や生産実績、また風害発生時の再播種における実績対比や今年度の育苗に向けての対策等説明がありました。

また、営農支援室有岡審査役からは、昨年まで四カ町村革新的事業で行っていたコントラ事業に関する概要や今後の方向性について説明がありました。





JA情報館



女性部・フレッシュミズ合同味噌作りを開催

1月28日(火)津別町食品加工研修センターにて、女性部、フレッシュ・ミズ会員11名が参加し味噌作りを行いました。手作り味噌は、近年人気があり年々作る量も増えています。今年で3年目になりますが、手際良く作業が進み予定時間内に作る事ができました。昼食は、お赤飯と部員が持ち寄った漬物を頂きながら交流を深めました。



JA役員・幹部職員による新年祈禱



令和2年の仕事始めである1月6日(月)津別神社にて、JA役員と幹部職員による新年祈禱を行いました。例年、仕事始めに執り行われているもので新年度の五穀豊穰・農作業事故防止等を祈願致しました。

女性部・フレッシュミズてん菜勉強会を開催

1月16日(木)JA会議室にて、女性部とフレッシュ・ミズ会員を対象とした、てん菜勉強会を開催しました。日甜美幌製糖所津別原料事務所の上野所長を講師に招き、てん菜の基本や栽培体系等の説明を受けました。勉強会終了後、日甜美幌製糖所を見学し、工場見学するのは初めてのことで、貴重な体験ができ参加者はとても勉強になったと感想を述べていました。



役員報酬等審議会を開催

1月20日(月)JA会議室にて、令和2年度の理事及び監事の報酬について審議するための役員報酬等審議会が開催されました。田原会長より審議結果の答申書が山下組合長へ渡されました。

《審議委員》

会 長： 田原 賢二

委 員： 石井 博幸、鹿中 順一、細川 康博
嶋田 治仁



年金友の会情報

第6回 囲碁大会

開催日：令和2年1月22日(木)

開催場所：JAつべつ3階 休憩室

優勝 三島 宏章 五段格【4勝0負】

準優勝 今井 保 三段【3勝1負】

3位 竹内 武二 四級【2勝2負】

【年間成績】

優勝 三島 宏章 五段格

準優勝 今井 保 三段

3位 竹内 武二 四級

JA役員による新事務所建設現場視察

1月29日(水) 新事務所建設現場にて、JA役員による新事務所建設現場視察を行いました。昨年の8月以降毎月実施しているもので、今回の現場視察ではJA幹部職員も交えて実施しました。現場責任者の三共後藤建設(株) 堀建築部副部長より建設工事の進捗状況と今後の工程について説明を受け、事務室をはじめ会議室等各所を回りながら視察を行いました。



1月末現在の工事進捗率は91%であり、2月の主な作業予定として床仕上工事・建具吊込・電気機械設備等の器具取付や仕上げを行い、2月末の進捗見込率は97%としています。組合員・地域の皆様には、ご不便をお掛けする事もあるとは思いますがご理解・ご協力の程宜しくお願いします。

新事務所建設工事進捗状況をお知らせします

昨年6月21日(金)の起工式を経て、7月より本格的に新事務所の建設工事が始まりました。
1月末現在までの工事進捗状況についてお知らせします。



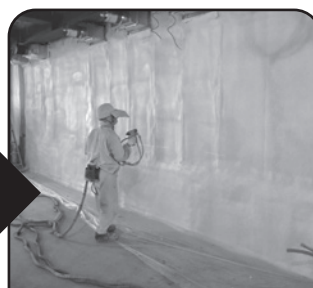
10月24日
吹抜部分全景



11月1日
スラブ下断熱



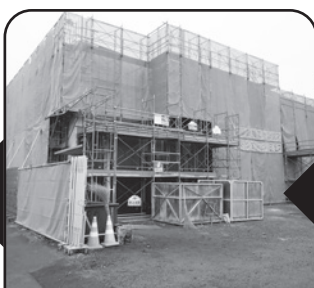
11月20日
外壁貼り



11月21日
外壁面断熱



12月1日
内部壁ボード貼



12月1日
外部全景



11月29日
軽量間仕切下地



11月22日
軽量間仕切下地



12月17日
天井軽量鉄骨下地組



12月24日
外 観



12月24日
外 観



12月25日
天井ボード貼



1月28日
床 貼



1月15日
壁塗装



1月10日
壁クロス貼



12月25日
天井ルーバー取付

建設開始から10月中旬までの工事進捗状況は9月号・12月号に掲載しています。

営農支援室からのお知らせ



たまねぎの播種準備～育苗について

降雪に対する防災環境の整備と事前準備を進めましょう



《降雪に対する防災環境の整備と事前準備を進めましょう》

「冬季被覆パイプハウス」では、大雪や吹雪により屋根部に積雪した場合に、気温が低いときに降る乾いた雪は50kg/m²位ですが、0℃前後で降る湿った雪では100kg/m²を超えます。雪でたるんだ被覆ビニールをビニール下から棒やスコップ等で突いても雪は持ち上がらず、ビニールが裂け雪の下敷きになり、ハウスが潰れる恐れがあるのでハウス外側から雪底落とし等を使って除雪して下さい。

播種前

これまでの風雨や降雪により施設各部の損傷・ゆるみ・たるみ等がないか点検し、補修を行って下さい。

- ㊦ 施設周辺は小まめに除雪して採光性を高め、すき間や破れの修復を行い、ハウス内の気密性を高め保温・加温効率を上げる。
- ㊧ 出入口は外側から目張りする。開口部は重ね合わせ、夜間の寒風流入を防ぐ。
- ㊨ 内張りカーテンは多層被覆する。被覆資材間は6cm以上を確保し保温性を高める。
- ㊩ 温風暖房機は、サーモセンサーを点検するとともに、ノズル周辺の清掃やバーナーのエアシャッター（燃焼空気取入口）を調整して燃焼効率を高める。
- ㊪ 多段式サーモ装置を使用し、作物の生育に合わせて時間帯により設定温度を変えて管理する。特に夜間は、呼吸消耗を抑制する上でも生育の最低温度で管理する。
- ㊫ 育苗に電熱線を使用する場合は、断熱材等を敷いてから設置して保温効果を高めるとともに、サーモの設定温度にずれがないか確認する。

播種後

雪の重みで被覆ビニールがたるみ、自然落下が困難となり、吹きだまりや、日当たりの良い南側の屋根雪だけが落ちるなどで、ハウスのゆがみが発生することがあります。

早めに雪底落とし等を使って雪下ろしを行って下さい。

大雪警報等が発令された際は、直ちに補強支柱等の臨時的補強材を取り付け、屋根被覆材の表面に雪の自然落下を妨げるような突出物等がないか、また、ビニール、押さえひも等のゆるみの再点検を行うことが必要です。

加温設備がある場合は、降雪開始と同時に可能な範囲で設定温度を高め、加えて内張りを開放するなど外張りの天張面を温め落雪を促すことが重要です。但し、たまねぎの適温範囲内での開閉管理として下さい。

育苗管理

播種/伏せ込みまでの管理

- ㊦ 育苗用ポット培土はタマネギ育苗専用培土を使用し、使用方法については各メーカーの使用マニュアルに従う。
- ㊧ 下敷きネットの上に苗箱（成型ポット）を並べ、踏み板を使い苗床とポット底部を十分に密着させる。
- ㊨ 設置後の最初のかん水は地温確保のため、できるだけ午前中に行う。
- ㊩ 育苗ポットを被覆するシルバーポリトウはポットの上の水が引いてから直接かけ、トンネルで二重被覆にして保温する。
- ㊪ 温度計をハウス内、トンネル内、ポット内に設置し目標温度を維持する。
- ㊫ 「北もみじ2000」「オホーツク222」は、高温（25℃以上）の影響で発芽や生育のばらつきが発生しやすいので特に温度管理に気を付ける。
- ㊬ 発芽が80～90％程度、中央部の草丈1～1.5cmを目安にシルバーを除去する。
- ㊭ シルバー除去後、かん水を行い発芽を完全に揃える。

ロータリー等を装着したまま 公道走行が可能になりました!

ロータリー等の直装型作業機*を装着した状態のトラクターが、一定の条件を満たした場合に公道走行が可能となりました。周囲の方々への安全を第一に、注意して走行してください。

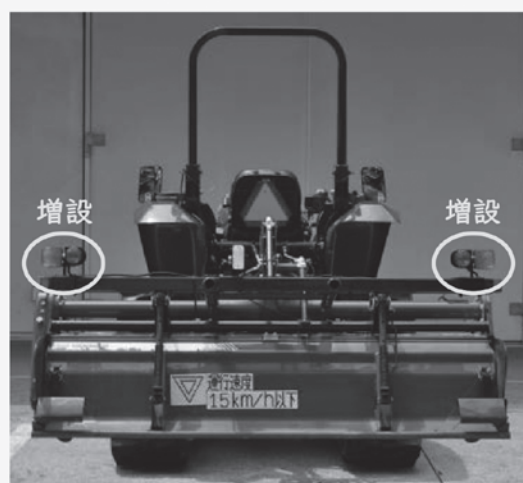
*直装型作業機:けん引タイプではない、ロータリー、ハロー、直装式ブームスプレーヤ、播種機等のトラクターに直接装着する作業機

Q. 「一定の条件」とはどのようなものですか?

A. 灯火器類、作業機の幅、最高速度、運転免許などの確認が必要となります。詳しくはお近くの農機販売店や、地方運輸局、地方農政局、(一社)日本農業機械工業会にご確認ください。

例えば灯火器類なら……

作業機を装着して灯火器類が見えなくなる場合
⇒ お近くの農機販売店で、灯火器類を増設しましょう!



 国土交通省 農林水産省

【お問合せ先】
農林水産省 生産局
技術普及課 03-6744-2111



http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/kodosoko.html

(一社)日本農業機械工業会

日農工 公道走行



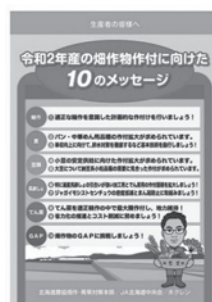
<http://www.jfmma.or.jp/koudo.html>

JAグループ通信

JA北海道中央会



JAグループ北海道は、「令和2年産の畑作物作付に向けた10のメッセージ」と「畑作物のGAP」についてパンフレットを作成しました。10のメッセージは、①輪作体系の確立、②需要動向を踏まえた生産、③農業諸制度の堅持の3つの観点から、令和2年産の作付にあたって参考としてほしい情報をわかりやすく伝達することを目的としています。畑作物のGAPについては、令和元年度は一部生産者協力のもとプレ実施し、課題や問題点を整理し、令和2年度より本格実施する方針としています。詳細な内容については、今後、連合会やJAを通じてお知らせいたします。10のメッセージや畑作物GAPの具体的な内容については、QRコードよりパンフレットをご確認ください。



JA北海道信連



JAバンクのキャラクター「よりぞう」が、協同組合間連携の取り組みの一環として、初めてコープさっぽろ・ろうきんのキャラクターとともに、11月に札幌市内の保育園を訪問しました。また、12月には、「よりぞう」と「ちよリス」が、岩見沢市、滝川市、旭川市の幼稚園を訪問し、子供たちと交流を深めました。

地域の皆様に、JAバンクをより身近に感じてもらえるような活動に取り組んでいます。



JA共済連北海道



JA共済連北海道では、2月4日から開催される雪と氷の祭典「第71回さっぽろ雪まつり」の大通り7丁目「HBCポーランド広場」におきまして、令和元年度 JA共済 全道小・中学生交通安全ポスターコンクールの入賞作品64点を展示いたします。

JA共済連北海道は交通事故のない社会の実現に向けて、多くの観光客の方々にも交通安全の大切さを理解していただき、事故の防止につなげていきます。(写真は、今年の会場の様子)

ホクレン



ホクレンは、北海道ぎょれんと共同制作したカタログギフト「北の海と大地のギフト」を販売しており、旬の北海道産農畜産物・水産物ならびに、その加工品など北海道産食材の魅力をお届けいたします。

カタログを贈られた方が気に入った商品を好きなタイミングで注文できます。

価格は1冊5500円(消費税込み、送料除く)。詳しい内容は「ホクレングリーンネットショップ」のWebサイトで閲覧いただけます。

JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。10月発行分にはプレゼント付きアンケートもございますので是非応募にもチャレンジしてみてください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容をご紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。





2月17日	月	臨時理事会	3月 1日	日	
		組合長会役員会	2日	月	経営会議
18日	火	自治監査(～21日)・地区別組合長会	3日	火	地区懇談会(～4日)
		カルビー組合懇談会・年金友の会総会	4日	水	
19日	水	企画会議・甜菜育苗センター協議会	5日	木	農産合同総会
		年金友の会温泉保養(～20日)・総務委員会	6日	金	
20日	木	四ヶ町村甜菜視察(～22日)	7日	土	
21日	金		8日	日	
22日	土	指定休日	9日	月	監査代替的調査(～13日)
23日	日	天皇誕生日	10日	火	中央会総会
24日	月	振替休日	11日	水	畑青本部委員会
25日	火	理事会			応援証贈呈式
26日	水		12日	木	職員全体会議
27日	木		13日	金	企画会議
28日	金	東都北日本会議(～29日)	14日	土	閉庁日
29日	土		15日	日	

第十二回理事会報告

開催日
1月29日

報告事項

- ①令和元年12月末財務状況について
- ②共計品の本精算について
- ③令和元年度クミカン取引実績並びに清算状況について
- ④役員報酬等審議会の答申について
- ⑤営農組合連絡会議総会の顛末について
- ⑥常任委員会の顛末について
- ⑦各作物の状況及び生産者団体の活動状況について
- ⑧各課報告事項

付議事項

- 議案第1号
理事に対する令和2年度クミカン供給認定について
- 議案第2号
(有)だいちの事業計画・令和2年度クミカン供給認定について
- 議案第3号
期末賞与の支給について
- 議案第4号
定款の変更について
- 議案第5号
規程類管理規程の改正について
- 議案第6号
出資金の持分譲渡について
- 議案第7号
令和2年度内部監査計画について
- 議案第8号
農地保有合理化に伴う確約書の提出について
- 議案第9号
津別町農業委員の推薦について

協議事項

- ①令和2年度事業計画の策定について
- ②事業分量配当について